

平成19年度 川崎市青少年の家の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	川崎市青少年の家共同運営事業体
代表者	財団法人川崎市生涯学習財団
構成員	特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の管理運営及び維持保全に関すること ・施設設備の利用許可及び提供に関すること ・主催事業の企画実施に関すること ・青少年教育行政、市政及び地域行政への協力に関すること ・施設の設置目的に沿った施設の有効活用と利用促進に関すること ・その他、仕様書に定める指定管理業務に関すること

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 運営管理にのぞむ基本姿勢	青少年の家の基本理念を理解し、職員をはじめ、ユースワーカーズ倶楽部、ボランティア活動者、利用者、地域協力者などにこの理念が広く理解されるよう様々な活動や研修を行った。	青少年教育施設としての基本理念を十分に理解し、また、その理念が広く理解されるよう努めている。
② 料金設定及び料金徴収	事業実施にあたっての料金設定について、利用者の負担にならないように留意し、必要最低限度額となるように努めた。	利用者負担について留意し、事業実施にあつての料金を適切に定めている。
③ 施設の活用方法と提供できるサービス	<p>(1)学校との連携にかかわる事業、(2)地域との連携や援助を行う事業、(3)ボランティア・指導者養成を行う事業を中心に、「川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部」、「ほのほのスクール」、「こどもエコチャレンジクラブ」をはじめ、事業計画書に基づき、適正に事業を実施した。</p> <p>食堂については、事前完全予約制のセルフサービス方式をとっている。また、スポーツメニュー、乳幼児メニューなど、特別食も利用できるようにした。 食品衛生管理運営基準マニュアルを厳守して取り組んできた。 接客へのマナー、制服の清潔感、食事のカロリーなどについても十分に配慮し、明るい食堂運営に努めた。</p>	<p>自主事業について、事業計画書に基づき、適正に実施されている。 事業計画時に、一定程度の目標を掲げ、その達成度を測ること。</p> <p>食堂については、メニューの工夫、衛生管理及び接客態度などに配慮して運営されている。</p>
④ 施設の利用促進策	施設利用の促進や利用団体の範囲を適正に拡大するため、広報物への(ステージアップ)掲載やチラシ類の作成・配布により、広報活動の充実を図ってきた。	広報物への掲載やチラシ類の作成・配布により、利用促進に努めている。

⑤ 施設の利用に関する業務	<p>多くの事業を実施し、その内容の充実化は青少年のみならず、広く社会に貢献していくものと考え、多くの方々の意見を聞き、充実を図ってきた。</p> <p>子育て支援については、保護者が子への十分な役割を果たせるよう学校、関係機関と連携を取りながら取り組んできた。</p> <p>特別支援教育についても、電話での相談や来所相談などに取り組んできた。</p>	多様な利用者の要望に応えられるように事業内容を検討して、実施している。
⑥ 施設及び設備の維持管理	<p>通年開館の施設であるため、各種点検日と利用予定日が重ならないよう実施して、利用者への影響がないように対応した。</p> <p>各設備については、法定点検と日常の全職員の安全意識が大切であると考え、その徹底を図った。また、総合管理業務会社との連携、協力が大切であると考え、経験と実績のある業者を選定した。</p>	法定点検をはじめとする各種点検を適正に実施している。また、保守点検の時期を考え、利用者への影響がないように対応を行った。
⑦ 危機管理	<p>防災設備の完備は、災害発生時、最小限にとどめる絶対条件であると考え、定期的に点検し、常に適正に機能する状態にした。また、職員、利用者の災害時の行動も被害の拡大防止に直結するものであることから、施設において予測される事案を明確にして、防災訓練を実施した。</p> <p>事前に広報活動を徹底し、利用者のパニック防止等に努めている。</p> <p>職員には防災システム教育(非常放送システム・火災処理機能の習得)を実施し、直接的な体験をすることで、人命に直接関わる問題であることを常に自覚できるように図った。また、大規模災害時の対応マニュアルを作成して、その周知徹底を図った。</p>	防災訓練の実施や防災設備の定期点検などを実施し、日ごろから危機管理意識の向上に努めている。
⑧ 業務委託(再委託)	<p>各委託業務が適切に遂行されているかを、必要な書類などを十分に検討した。</p> <p>また、各々の委託業務は円滑に履行された。</p>	業務終了後の検査について、職員による現場確認が実施されているなど、適切に行われている。
⑨ 雇用職員及び職員配置	<p>事業計画どおりに実施した。また、多くの宿泊者や行事などの参加者があって、多忙を極める場合があるが、各自の職務を全うすると同時に、職員相互の協力体制の下で適正な運営に努めた。</p> <p>勤務時間の厳守、各自勤務内容を十分に認識して、業務を遂行し、また職員の健康保持には十分留意した。</p>	勤務ローテーションの工夫などにより、柔軟な職員配置を行っている。
(2) 利用状況		
① 利用状況	<p>総利用団体数 661団体 延べ利用者数 37,323人</p>	事業計画時に一定程度の目標を立てて、その達成度を測る必要がある。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>75,436,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用料金</td> <td>13,800,150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑</td> <td>1,887,451</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>91,123,601</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>20,512,750</td> </tr> <tr> <td></td> <td>光水熱費</td> <td>19,819,850</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託費</td> <td>32,306,616</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>15,660,415</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>88,299,631</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td></td> <td>2,823,970</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	75,436,000		利用料金	13,800,150		雑	1,887,451		合計	91,123,601	支出	人件費	20,512,750		光水熱費	19,819,850		委託費	32,306,616		その他経費	15,660,415		合計	88,299,631	差引		2,823,970	<p>昨年度同様に収支の均衡が図られた。引き続き、安定した管理運営を継続すること。</p>
収入	指定管理料	75,436,000																														
	利用料金	13,800,150																														
	雑	1,887,451																														
	合計	91,123,601																														
支出	人件費	20,512,750																														
	光水熱費	19,819,850																														
	委託費	32,306,616																														
	その他経費	15,660,415																														
	合計	88,299,631																														
差引		2,823,970																														
(4) その他																																
① 苦情処理・説明責任・自己評価・満足度調査 (利用者からの意見・要望等への対応)	<p>利用者にはアンケートを記述してもらい、意見の収集に努めた。そのアンケートの意見や要望を参考にしながら、施設運営の改善を図った。</p>	<p>アンケートを適切に実施し、意見や要望を参考に運営の改善に努めている。</p>																														
② 個人情報の保護及び情報公開	<p>個人情報の保護は、人権尊重の視点からも大切であるとの認識で、適正に対処してきた。</p> <p>また、個人情報の紛失や破壊は、利用者との信頼関係の上でもきわめて重要であると認識し、個人情報の保護を遵守した。</p> <p>市民の理解と信頼を深めるためには、的確な情報の提供が必要なため、公的機関を中心に公開に努めてきた。</p>	<p>個人情報の保護及び情報公開には、十分に配慮されている。</p>																														

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

指定管理者の専門性を活かし、(1)学校との連携にかかわる事業、(2)地域との連携や援助を行う事業、(3)ボランティア・指導者養成を行う事業を中心に、充実した事業を実施している。
収支状況についても、経費の節減に努め、収支の均衡が保たれている。

4 平成20年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

事業計画を基に一定程度の目標を掲げ、事業の達成度が客観的に分かるようにすること。
引き続き、団体宿泊研修施設としての施設の設置目的に沿って、より一層の利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に努めること。